

求人数・時給ともに増加の傾向

全国求人情報協会が発表した8月の求人広告掲載件数（週平均・職種別合計）は、92万1376件（前年同月比30.3%増）となりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、昨年11月以降は9カ月連続で80万件台が続いていましたが、100万件台復活の兆しがうかがえます。

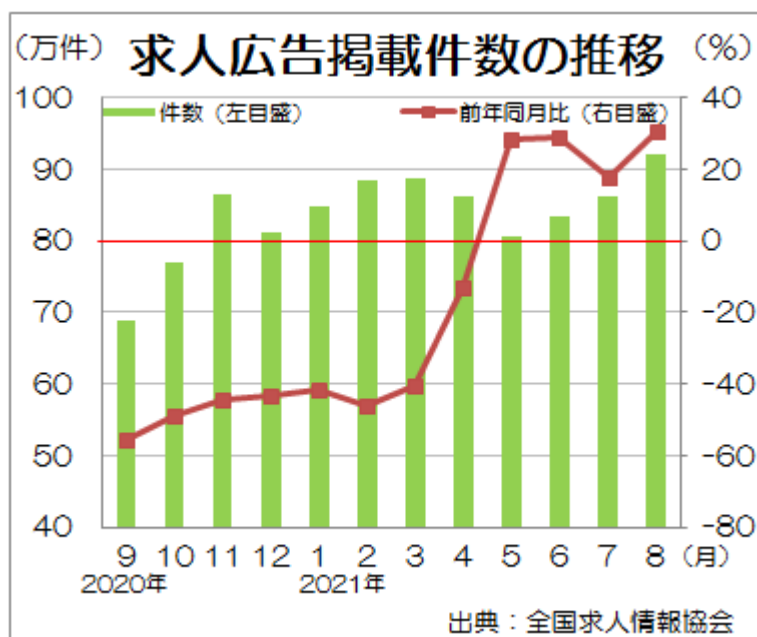
前年比は、昨年4月からコロナ禍で激減していることから、その反動で大幅増となっていますが、ピーク時は160万件で推移していました。職種別でみると、「サービス」の中で「飲食店スタッフ」が週平均8万9590件（同24.7%増）、「調理スタッフ」は7万2350件（同29.5%増）、「運搬・清掃・包装」は11万6142件（同37.6%増）、最も掲載件数が多い「販売」も16万2261件（同12.8%増）となっています。

雇用形態別では、全体の7割を占めるアルバイト・パートが同21.7%増、このほか正社員が同58.6%増、契約社員が同35.2%増でした。

また、地域別では最も件数の多い関東・甲信越が同28.0%増だったほか、北海道・東北は同46.6%増、中部・北陸は同43.3%増、近畿は同27.3%増、中四国は同46.0%増、九州・沖縄が同49.5%増となりました。

9月のバイト時給は1182円 前月比プラスが続く、ディップ

ディップが発表した9月のアルバイト時給は平均1182円で、前月比12円（1.0%）増、前年同月比65円（5.8%）増となりました。前月比は2カ月連続のプラス、前年同月比は9カ月連続のプラス。10月からの最低賃金の大幅引き上げをにらんで、時給も上昇基調となっています。

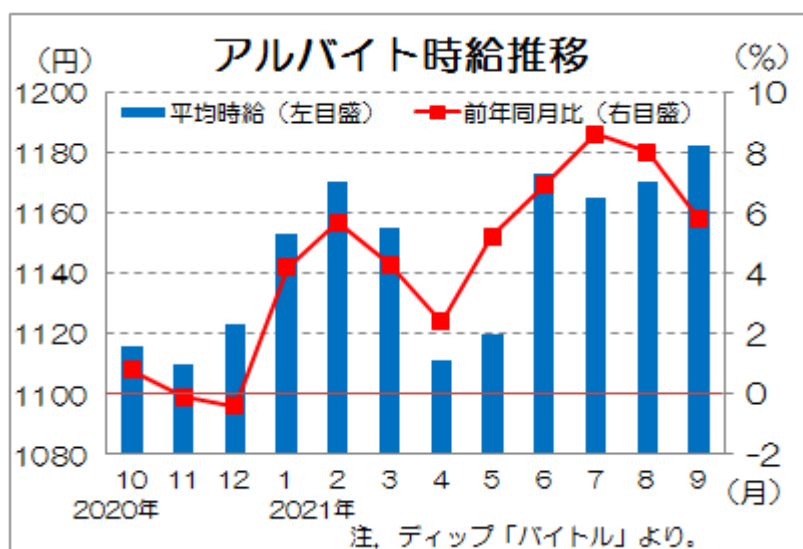


大職種別にみると、8月と同様に製造・技能が1404円（前年同月比28.9%増）、教育が1628円（同14.2%増）と二ケタの伸びをみせ、9職種のうち5職種がプラスでしたが、専門職が1237円（同4.1%減）、サービスが1250円（同3.5%減）など、4職種がマイナスとなり、バラつきがみられました。

地域別では関東が1216円（同4.9%増）、東海が1144円（同9.9%増）、関西が1232円（同1.5%増）、九州が1088円（同11.9%増）と全地域でプラスを続けています。

同社の「バイトル」に掲載された求人件数は約18.5万件で、前月比4.4%増、前年同月比36.2%増。前月比は8月のマイナスからプラスに転じ、前年比は7、8月と同様に前年の落ち込みの反動で大きく伸びています。

一方、リクルートが発表した9月のアルバイト・パート平均時給は1102円で前月比0.3%増、前年同月比1.0%増。マイナビが発表した9月のアルバイト・パート平均時給は1135円で前月比0.7%減、前年同月比2.2%増となっています。



3大都市圏の派遣時給は1621円 4カ月ぶり前月下回る、エン・ジャパン

エン・ジャパンが発表した8月の派遣平均時給（三大都市圏、募集時）は1621円で、前月比0.2%減、前年同月比3.1%増となりました。前月比は4カ月ぶりのマイナス、前年同月比は10カ月連続のプラス。前月を下回ったのは医療・介護系の低時給案件と軽作業の案件の増加が要因です。

職種別（大分類）では、最大規模の「オフィスワーク系」が1569円（前年同月比0.4%増）と堅調だったのをはじめ、「クリエイティブ系」が1913円（同3.1%増）、「IT系」が2350円（同4.1%増）、「営業・販売・サービス系」が1515円（同2.3%増）など、7職種中6職種でプラスとなりました。

地域別では7月と同様に、関東が1707円（同4.3%増）、東海が1408円（同2.6%増）、関西が1437円（同2.9%増）と3地域ともプラスでした。

3大都市圏以外では北海道が1298円（同4.9%増）、東北が1173円（同4.9%増）、北信越が1144円（同4.5%減）、中国・四国が1217円（同1.1%増）、九州・沖縄が1200円（同3.2%減）となっています。

一方、ディップが同日発表した3大都市圏の平均派遣時給は1491円（同4.4%増）で、「はたらこねっと」に掲載された求人件数は約12.2万件（同54.3%増）。リクルートが発表した3大都市圏の平均派遣時給は1735円（同1.8%増）で、「リクナビ派遣」に掲載された求人延べ件数は約31.9万件です。

